

既存ファンの深化と新規層の開拓を両立

『cocolu club』（愛知県刈谷市・知立市）4月号にて、ラグビーリーグワンに所属する地元チームの魅力を多角的に解剖した巻頭特集を実施いたしました。順位争いが熾烈化するシーズン終盤に焦点を当て、最高潮に達したチームの熱量を誌面に還元するという戦略に基づいた企画です。

競技へのハードルを下げ、潜在的ファンを顕在化させるべく、誌面では選手やヘッドコーチの独占インタビューに加え、観戦未経験層に向けた基本ルールの徹底解説を併設。その結果、名古屋会場を凌駕する熱量で地元・刈谷市のラグビー場周辺から多大な反響を呼び、提供した1,000名分の招待チケットは即座に応募上限に達しました。

地域密着型メディアとしての訴求力が、スポーツビジネスにおける直接的な集客およびロイヤリティ向上に寄与することを実証し、媒体価値の再定義に成功した好例となりました。

(cocolu club編集部・阿内)

伴走型の制作・運用で採用活動を加速

認可保育園や企業・病院内保育所などの運営を手掛ける保育サービス企業。情報誌での求人掲載をご縁に、これまで採用パンフレットやイベントツールなど、大切な採用広報をお手伝いしてまいりました。

日々の対話からご相談をいただいたことをきっかけに、現在はWEB領域の情報発信にも注力しています。クリエイティブやWEB担当など社内部署と密に連携をとることで、細やかな配信設定の見直しやバナーの追加を行い、WEB広告を運用。LP制作から広告配信までをトータルにお任せいただいています。

現在はトワイライトルームの職員募集を行っておりますが、WEB広告を通じて新たな応募につながっているほか、公式Instagramのフォロワー数も増加するなど、うれしい相乗効果も生まれています。企画・デザインから運用までを自社で一貫して手掛ける強みを生かし、今後も時代の変化に応じた最適な発信をサポートしてまいります。

(中部プロモーション課・鳥丸)

『ママこっこ』

園児から家庭に直接届く子育て情報満載のフリーマガジン

- 【配布先】 県内全域の幼稚園・保育園・こども園
- 【発行時期】 年4回(1月・4月・7月・10月)
- 【設置先】 産婦人科・小児科・児童館・図書館・ショッピングモール等
- 【発行部数】 みやぎ版/25,000部 ちば(中部版)/50,000部 群馬版/57,000部 ちば(北西部版)/50,000部 埼玉東版/25,000部 岐阜版/57,000部
- 【仕様】 冊子A5版 オールカラー

『Start!』

進路選びを応援する高校生のための就職応援メディア

- 【配布先】 高校
- 【仕様】 冊子A4 オールカラー
- 【発行エリア】 山形県・群馬県・岐阜県・愛知県・三重県・滋賀県・鳥取県・福岡県



「ありがとう」がつないだ30周年

岐阜県飛騨地域で発行する『SARUBOBO』は、4月号をもちまして創刊30周年を迎えました。

30周年アニバーサリー企画では、「誌面を通じて日頃言えない「ありがとう」を届けよう」をテーマに、読者参加型の応募企画を実施。家族や友人、職場の仲間、お世話になった方々へ向けた感謝のメッセージを募集したところ、230通ものご応募が集まりました。応募作品には、「いつも支えてくれてありがとう」「普段は照れくさくて言えないけれど感謝しています」など、心温まる言葉が数多く寄せられ、感謝を伝えることの大切さを改めて感じる機会となりました。

30周年という節目に、地域の皆さまと温かな思いを共有できたことを大変うれしく思っております。この感動を糧に、今後もより一層地域に寄り添い、飛騨になってはならない存在として、多くの方に親しまれる誌面づくりを目指してまいります。

(SARUBOBO編集部・田中)

完全実践型研修でDXの本質を体感

AIを主に「チャット」「検索エンジンの延長」「プレゼン資料の作成」に使っている方は多いのではないのでしょうか。

実はAIは、システムや働き方そのものを刷新する「組織変革のエンジン」へと進化しています。その圧倒的な実力を体感いただくべく、関西ばどが始動させた新商材が「AIブートキャンプ」です。

特徴は、座学を最小限に抑えた完全実践型であること。「繰り返している業務」「手間がかかっている業務」の効率化に直結するアプリを2日間で完成させます。初回開催には70代の経営者も参加し、研修終了時には自社オリジナルの営業管理システムを開発するに至りました。

参加者からは「今まで自分は何をしてきたのだろうか。今までの仕事作業だったことに気づいた。部下に仕事を振って時間を浪費させてしまっていた」という声も届いています。AIの真価を体感したい方は、ぜひ本プログラムへお問い合わせください。

(関西ばどマーケティング企画室・中島)

『Workin』

アルバイト・パート・中途・新卒・派遣等、あらゆる雇用形態に対応した総合求人メディア

- 【設置先】 県内広域のスーパー・ショッピングモール・コンビニ・駅・大学など
- 【発行部数】 青森版/12,000部 富山版/12,000部 秋田版/12,000部 石川・福井版/12,000部 岩手版/12,000部 山形版/12,000部 宮城版/33,000部
- 【仕様】 冊子AB版 オールカラー
- 【発行時期】 隔週(月・火)※山形月一

『講演会インフォ』

ゲスト講師、タレント選びからイベント企画立案、当日の運営までサポートするネットワークサービス

- 【登録講師数】 7,000名
- 【年間実施件数】 400件以上



クリック

フリーマガジンに掲載しているクーポンがスマホの中に!切り取らなくてもスワイプで簡単に使える!

※ダウンロード数 558,072件 (2026年5月20日現在)



クリック

女子プロバドミントンチーム・岐阜Bluvicとオフィシャルパートナー契約を締結

中広は、岐阜県拠点の女子プロバドミントンチーム「岐阜Bluvic」と2026年度のパートナー契約を締結しました。国内トップリーグ所属の女子チームの中で、実業団ではない独立したプロクラブは全国でも稀な存在です。地域に支えられ世界へ挑む彼女たちの姿は地元の誇り。中広は、その挑戦を足元から支えるパートナーとして、共に岐阜を熱く盛り上げていきます。

(管理本部・後藤)



U-NEXTにて剛力彩芽さん主演・舞台版『女子大小路の名探偵』が配信開始

『地域みっちゃく生活情報誌』での連載から始まった『女子大小路の名探偵』シリーズ2作目の舞台版『死は、ど真ん中に転げ落ちて』がU-NEXTで配信開始。秦建日子さんが原作・脚本・演出を務め、剛力彩芽さん主演で上演された本作は、にっぽんど真ん中祭りを巡る事件と熱量あふれるダンスが見どころです。情報誌発・地方創生エンタメコンテツの広がりにご注目ください。

(社長室・佐藤)



2025年東京・銀座の舞台公演はこちらから



拠点移転のお知らせ

このたび、関西ばど本社、ParuPi・ビグレ編集部が下記の通り移転しましたので、お知らせします。

拠 点	住 所	連絡先
株式会社関西ばど本社	〒550-0004 大阪府大阪市西区靱本町1丁目6-6 大阪華東ビルディング3階	TEL 06-6479-3113 FAX 06-6479-3111
ParuPi・ビグレ編集部	〒400-0041 山梨県甲府市上石田3丁目4番10号 Tビル2階	TEL 055-221-0682 FAX 055-221-0685

※TEL・FAXに変更ありません

医療特集を通じて地域の「もしも」に寄り添う

新生活が落ち着き、新しく秋田で暮らし始めた方や、ライフスタイルの変化を迎えた方が医療機関を探すタイミングに合わせ、5月号にて年に一度の医療特集「ドクターズガイド」を企画。地域の医療機関を知るきっかけとなる内容を目指しました。

取材では診療方針に加え、診療時間の変更や医療機器の導入など各院の特色も紹介。営業・取材・編集を一貫して行うことで、各院の強みを最大限に引き出す誌面づくりにつなげました。

医療機関からは「本誌を持って来院される患者さんもいる」といった声に加え、スタッフのモチベーション向上につながったという反響もいただいています。今後も地域と医療をつなぐ特集づくりを目指していきます。



▲『月刊エー・クラス』5月号「ドクターズガイド」企画



▲『ぼろんくらぶ』編集室のスタッフ

情緒ある歴史と、水資源、山麓など豊かな自然に恵まれた三重県北勢エリア。桑名市・いなべ市・東員町・木曾岬町の2市2町で配布している地域みっちゃく生活情報誌『ぼろんくらぶ』は、2026年4月号をもちまして、創刊20周年を迎えることができました。長きにわたり支えてくださった地域の皆さま、そしてお取引先の皆さまに、スタッフ一同より感謝申し上げます。

私たちは現在、4名のスタッフで制作に励んでいます。日々地域の情報にアンテナを張り、エリア内を隈なく駆け回りながら旬の情報を集め、「地域のいま」が伝わる誌面づくりを大切にしています。

これまでの20年という歩みを糧に、これからも地域の読者の皆さまと、企業・行政・団体・事業主の皆さまをつなぐ「最良のパートナー」であり続けられるよう、新たな決意でまい進してまいります。

これからの『ぼろんくらぶ』にも、どうぞご期待ください。

(ぼろんくらぶ編集部・吉田)

編集後記

中東情勢の長期化に伴うナフサ不足と価格の高騰は、身近な場所にも影響を及ぼしています。私が住むエリアでは、ゴミ袋を買おうとしたところ、品薄状態に。このエリアでは指定ゴミ袋の製造自体はできているものの、全国ニュースを見た住民の不安からくる、買い占め需要が影響しているそうです。

先日の当社の決算発表会見でも、記者から中東情勢の影響を問う声が多く、社会の関心の高さを肌で感じました。

なにか問題が起こったときに正しい情報が届かないと、パニックが起こり、ゴミ袋を購入できなかった私のように、二次被害を招きかねません。『地域みっちゃく生活情報誌』を展開する私たちは、地域の生活情報を扱うメディアとして、自治体や地元企業とも連携し、生活に即した、生きた情報を丁寧にお届けしていきます。

(広報・マーケティング 岡本)

